

## 第9回 土木学会トークサロン

土木学会トークサロンは、時々の社会で注目されている土木工学に関連する話題について、講師をお招きしてご講演いただき、また会員の方々との懇談・討議する会として創設されたものです。これは、数年前に催されていた定例談話会の精神を受け継ぎ、名称を変更して新しくスタートしたものです。特に、土木学会がここ数年来取り組んできている「土木学会の社会化」をメインテーマとした、JSCE2005の一連の活動の一部を成すものです。

1. 日時 : 2005年4月4日(月) 18:00~20:00
2. 場所 : 土木学会 (東京都新宿区四谷一丁目外濠公園内)
3. 講師 : 五百川(いおかわ)清氏(信濃川大河津資料館館長)
4. テーマ : 「大河津分水と青山土・宮本武之輔」  
~地域史研究をとおして考える~

概要: 今、土木工事における技術と人のあり方が大きな問題として意識されている。

青山土と宮本武之輔の二人の技術者についても高い関心がよせられている。<sup>注</sup>

いうまでもなくこの二人の技術者は、大河津分水の補修工事(1927~1931)に従事し、その責任者として共に力をつくした。

青山土は竣工記念碑に刻んだ「万象二天意ヲ覚ル者八幸ナリ 人類ノ為メ国ノ為メ」によってその名が知られ、宮本武之輔は、可動堰等の設計者として優れた技術力を発揮し、「民衆のふところへ」の信条の下、地域の人びとの信頼を集め工事の完成に貢献した。この二人の技術者については、「技術者として、指導者として彼らが残した足跡は、異なる軌跡を描きながら近代土木の道標として輝きその残像は今なお我々に技術者のあり方を問い続けている」(北河大次郎「図面に見る技術者の精神・写真に見る土木の文化」より)と評されている。青山土と宮本武之輔二人の技術者と大河津分水のかかわりに注目し、その「志」と地域の人びとの工事への信頼にふれて考えてみたい。

注: 高橋裕先生を監修者として、青山、宮本と八田與一を主人公とする映画が製作され、愛知万博で上映公開されるという。

進行: 日下部 治(企画委員会幹事長、東京工業大学教授)

5. 申込方法: 参加ご希望の方は、下記様式にご記入の上、申込先あてFAXまたはE-Mailにてお申し込みください。但し、定員となり次第締切とさせていただきます。(参加券等は発行いたしません。ご参加いただけない場合のみ、ご連絡させていただきます)

6. 参加費 : 2000 円 (軽食と飲み物代、当日受付で申受けます)

7. 申込先および問合せ先:

(社)土木学会事務局企画広報室「土木学会トークサロン」係

TEL : 03-3355-3433 / FAX : 03-5379-2769 / E-Mail :

[inf@jsce.or.jp](mailto:inf@jsce.or.jp)

**参考：トークサロン開催履歴**

- 第1回 2003年4月7日(月) 武蔵工業大学教授 中村英夫氏  
「高速道路民営化の議論と社会資本」
- 第2回 2003年6月27日(金) 東京大学教授 小池俊雄氏  
「地球水危機への処方箋を求めて - 全地球水循環観測の意義 - 」
- 第3回 2003年9月29日(月) 拓殖大学国際開発学部教授 長坂寿久氏  
「オランダモデル」について ~ 「政府 = 企業 = NGO」3者の合意形成システムの構築をめざして ~ ~
- 第4回 2004年2月16日(月) 尾田栄章氏 (NPO 法人渋谷ルネッサンス代表、元建設省河川局長)  
小俣多江子氏 (NPO 法人おむすびママの会理事長)  
三上 卓治氏 (NPO 法人神田雑学大学 理事長)  
「少子高齢時代を生きるシビルエンジニア」の社会化について  
~ 「NPO法人、土木人の社会化ツールとなる参考事例を語る」 ~ ~
- 第5回 2004年5月31日(月) 田邊忠顕氏 (JCI 中部支部技術評価支援機構専務理事、名古屋大学名誉教授)  
「フランスの公共事業におけるパブリック・インボルブメントの実践」
- 第6回 2004年6月21日(月) 大石久和氏 (国土交通省技監)  
「公共事業をどうとらえるべきか」
- 第7回 2004年9月2日(木) 日下部 治氏 (土木学会理事、東京工業大学教授)  
「国際化時代の土木」
- 第8回 2004年11月8日(月) 米田雅子氏 (NPO 法人建築技術支援協会常務理事・事務局長)  
「新分野に挑戦する建設業」

-----

**「第9回土木学会トークサロン 参加申込書」**

(2005年4月4日 開催)

氏名:
所属:
会員区分:
TEL:
FAX:
E-Mail: